

**製品名: eIF2 $\beta$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10370**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	40kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EIF2S2
別名	EIF2S2; EIF2B; Eukaryotic translation initiation factor 2 subunit 2; Eukaryotic translation initiation factor 2 subunit beta; eIF-2-beta
遺伝子 ID	8894.0
SwissProt ID	P20042
免疫原	抗血清はヒト EIF2S2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

**背景**

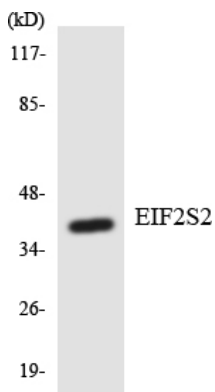
真核生物翻訳開始因子2サブユニットベータ(EIF2S2) Homo sapiens 真核生物翻訳開始因子2(EIF-2)は、GTPおよび開始tRNAと三

量体複合体を形成し、40S リボソームサブユニットに結合して、タンパク質合成の初期段階で機能します。EIF-2 は、アルファ、ベータ、ガンマの3つのサブユニットで構成され、この遺伝子によってコードされるタンパク質はベータサブユニットを表します。ベータサブユニットは、GDP から GTP への交換を触媒し、これにより、EIF-2 複合体は次の開始ラウンドにリサイクルされます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが分かっています。[RefSeq 提供、2015 年 10 月]、機能：eIF-2 は、GTP および開始 tRNA と三量体複合体を形成することにより、タンパク質合成の初期段階で機能します。この複合体は 40S リボソームサブユニットに結合し、続いて mRNA に結合して 43S 開始前複合体を形成する。60S リボソームサブユニットが結合して 80S 開始複合体を形成する前に、eIF-2 に結合した GTP が加水分解され、eIF-2-GDP 二元複合体が遊離する。eIF-2 がリサイクルして次の開始反応を触媒するためには、eIF-2 に結合した GDP が eIF-2B によって触媒される反応によって GTP と交換される必要がある。類似性：eIF-2-beta/eIF-5 ファミリーに属する。サブユニット：α鎖、β鎖、γ鎖からなるヘテロ三量体。少なくとも CUGBP1、CALR、CALR3、EIF2S1、EIF2S2、HSP90B1、および HSPA5 から構成される EIF2 複合体の構成要素。

## 研究分野

インスリン受容体

## 画像データ



EIF2S2 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。